

## J H F 理事会議事録

日 時： 2008年1月23日(水) 12:00~18:00

場 所： J H F 事務局会議室 (豊島区巣鴨 3-39-4 東都ビル 2F)

### 1. 議長・議事録作成及び署名人指名

議長：狩野智子 議事録署名人：荒井健雄 大沢 豊  
議事録作成人：桜井加代子

### 2. 定足数確認

出席者：出席【理事】荒井健雄 内田孝也 大沢 豊 狩野智子 菊池守男  
下村孝一 松田保子  
【監事】市川 孝 對馬和也  
欠席【理事】 城 涼一  
(出席理事7名。今理事会は定足数を満たし成立した)

### 3. 理事・監事の一言

内田会長： 理事会は11月の文書理事会が成立した後に12月、1月と溜まって来ていることがあり今日はその審議をお願いします。夕方には安全性委員会の下山委員長が事故報告のインターネット上での受付方式、データベースについて説明に来ます。それからイカロス出版から毎年行われているパラグライダーの木島平のイベントの説明にいらっしゃいます。理事会を出来るだけ効率良く進めさせていただければと思います。

松田常任理事： 12月8、9日に開催されたスカイスポーツシンポジウムに行ってみりました。今回は福岡聖子さんにパラのアクロバットの特別講演をしていただきました。いつになくアクティブな講演になったと思います。スカイスポーツシンポジウムは航空宇宙学会という所がやっており航空協会が共催しているイベントで今年は14回になります。マニアックな方々だけではなく、ハングやパラ、モーターで実際に飛んでいる方々にどんどん参加していただきたいということでした。

大沢理事： JDCの件について、メンテナンス等を西ヶ谷さん、システムの担当の梶井さん、会長と4名で打合せをし西ヶ谷氏と契約をすることで今回議案に挙がっています。

市川監事： 12月14日に添石事務局長と文部科学省主催の公益法人制度改革に関する説明会に行ってきました。10月に内田会長と公益法人協会の講習会に行った際、公益法人協会から新制度移行の際のチェックリストの話がありました。入手した資料のコピーを取って担当理事の方にお渡しします。

下村常任理事： 公益法人の話が出ましたが、公益制度の中心である池田守男さんのお話に約束事、常識と言うか、それをきちんとやっているかどうかということが大切であるという話がありました。

荒井理事： 教員・助教員を増やして会員を増やそうとかなりゆるくして来たつもりです。今度の教員検定員研修会はかなり偏った所でやってそこに行く為には自費であるとかがお

かしい。それから昔からの県連単位は残して欲しい。

對馬監事： JDC のシステム関係ですが、パラ、ハング、モーター別の人数が分かるシステムにして欲しい。

菊池副会長： 昨年東海日動火災から掛金の保険賠償金が 100%に近くなってしまうと値上げせざるを得ないと言われました。その 1つの懸案としてタンデムと空中接触の事故賠償補償に関して JPMA が加入していない。モーターハングとパラもハング、パラと同じで航空機ではありませんので、一般の賠償保険に加入していただきたいということを航空協会へも伝えて欲しいという話を航空協会ですて来ました。もう 1つは、事故の賠償保険内容の資料を保険会社から聞き、モーターパラが 1番危険であれば会費の保険料の中身を変えてもらうとか、なるべく早く取り掛かりたいと思います。

議長（狩野理事）： 理事に立候補して月日が経つのですが、途中から自分の個人的な都合とかでなかなか理事会にも顔を出せず、主だった活動もなかなか出来ず、自分としても反省します。

#### 4. 審議事項

##### 第 4－1 号議案 アジア選手権（パラ）開催について

大沢理事： アジア選手権に対して JHF の方針、立場はどうかというのを明確に再確認したいということで審議をお願いします。それと對馬監事から言われた様に、JHF が負担するお金の審議もお願いしたいと思います。

内田会長： 添石さんから、アジア選手権に対してどういう立場を取るのかの審議の中で、お金をどの位負担するかは話し合われているけれど、誘致して JHF としてアジア選手権が日本で行われるのは良い事だという様なことを議事録に書いていないと聞いていました。詳細計画やアジア選手権を推進するにあたってどこの機関が第一人者となるのかまでは添石さんは要求されていなかったということをお大沢さんに確認しています。議決するとしたら何を議決するかを決めてもらいたい。

下村常任理事： まず主体はどこかと言うと、最初四国は JHF でという意向があったのですが JHF が主体的にやるのは出来ないと断りました。理由はお金がないからです。お金の点ですが、最初は 1,500 万の 3分の 1で 500 万の話だったと思います。金額が大きいから大変だなという背景と、スポンサーや予算書が決まらないうちにお金を出すことは出来ないで、それは言えなかったという過去です。150 万だったら 2つ返事で OK です。理由は既に岡さんを始め、国際的な場でも話をしている。それから今の JHF 自体がハングを中心に動いてパラグライダーに薄いのではないかという世情、噂が強い。150 万の総枠を決めてしまった方が良くと思います。

大沢理事： 美馬市と東みよし町の町長の誘致の為の書類は出来上がったそうです。メキシコにプレゼンに行くのはまだ誰かは決まっておられません。それと JHF はメインの主権者という立場なのかどうかきちんと決めておいて欲しいのです。大会要綱があるのですが、その中

に主催は実行委員会、構成団体が航空協会、JHF とあります。

内田会長： 大会のローカルレギュレーションはそれとして、アジア選手権をどう考えるかの私の認識をお話して、それについて決議をもらいたいと思います。FAI の国際大会の内、色々なランク付けがあり、カテゴリー I、II となっています。大陸選手権は世界選手権と同じくカテゴリー I のもっとも厳格に行われなくては行けない国際大会です。ですから FAI が決めている国際ルールに基づいて、世界的な審査員とかローカルレギュレーションは 2 年前に提出など全て守られて行われることが義務付けられています。FAI の国際大会を行うのは誰かと言うと各国の NAC (National Air Sports Control) です。日本の NAC は日本航空協会です。今回のアジア選手権を日本航空協会が自らの手で実行出来ますかというそれは有り得ない。日本航空協会が NAC の立場として、日本のハングとパラグライディングのスポーツを統括として認めているのは我々 JHF です。従って JHF はこの大会を世界的には私がやりまますと言わざるを得ません。これは英語になったら主管も主催もないのです。第 1 回は韓国で行われました。第 2 回は日本でやったら、第 3 回も第 4 回も継続的にきちんと行われたいといけませんが、一体どこでやるのかとなりますが、第 2 回は日本でやりまますというのは JHF がやりまますということで決議をお願いします。

議長： では FAI の国際大会として JHF 主催で第 2 回アジア選手権を行い、予算 (150 万円) を組むことで採決します。

**採決の結果、【賛成 6 反対 0 棄権 0】で可決された。**

**賛成： 荒井、内田、大沢、菊池、下村、松田**

#### 第 4 - 2 号議案 2008 年度ハングシリーズルール改正について

大沢理事： 改訂ということで出しましたが、1 の簡素化については少し確認したいことがあります。2 のスコアリングシステムの運用変更ですが GAP2002 のシステムを調整中の為、3 と 4 の承認をいただければと思います。

松田常任理事： ハングシリーズの次の大会は 2 月ですね。その時にこれが決まっていないと困るということですね。では 1 と 2 に対しては状況に応じて柔軟に対処するという事で委員会にお任せしていただき 3 と 4 の審議を皆さんに諮ったらどうですか。

大沢理事： 1 と 2 については後で、文書理事会で決めてもらうことになります。

議長： では、1 と 2 は保留で 3 と 4 の改正を承認ということで賛成の方は挙手をお願いします。

**採決の結果、【賛成 6 反対 0 棄権 0】で可決された。**

**賛成： 荒井、内田、大沢、菊池、下村、松田**

#### 第 4 - 3 号議案 PG 競技委員会への西ヶ谷氏の立候補について

大沢理事： 西ヶ谷氏がアジア選手権の準備の為に力を貸したいということで、委員会で委員長の下に動いていくことで委員に立候補しました。書類は 11 月 28 日に出しています。3

月末迄で任期は終わってしまいますが承認をいただきたいと思います。

内田会長： これは添石事務局長から欠員が出ている委員会については常に委員を募集という事務局の立場上、申請が出てすぐに決議が欲しいということで文書理事会に付されています。但し 12 月末日迄、添石さんがコントロール出来る間までに 3 通の返信しかなくて文書理事会として不成立になりました。それで再度挙げられています。

議長： では立候補について承認に賛成の方は挙手をお願いします。

**採決の結果、【賛成 6 反対 0 棄権 0】で可決された。**

**賛成： 荒井、内田、大沢、菊池、下村、松田**

#### **第 4－4 号議案 JDC の更新業務の発注について**

大沢理事： フライヤー会員情報システム（JDC）に色々と不具合がありましたが去年の 10 月末の時点で完了したと見なし最後のお金を支払いましたが、それ以後に出ているバグがあり事務局で困っていることが多々あるのでその契約をしないといけない。3 月末日迄 2 営業日、1 日 3 万円として西ヶ谷氏と契約をして進めたいという提案です。4 月からはメンテナンス状況により再考します。

**採決の結果、【賛成 6 反対 0 棄権 0】で可決された。**

**賛成： 荒井、内田、大沢、菊池、下村、松田**

#### **第 4－5 号議案 JHF 共済会の組織清算について**

内田会長： 昨年の 11 月に旧来の JHF 共済会が補償金を払わないといけないフライヤーの支払が済みました。共済会としては未確定の支払いもなく必要な経費も一切ない休眠組織となりました。市川監事から話があった様に法人改革のこともありますので、JHF が負債を持っているものを一括処理して共済会そのものを正式に解散決議していただくのはどうかという提案です。理事会の決議としては共済会の方に解散の催促をする。2 はもう既に会計処理上終わっていますので共済会としてはいつでも解散出来る状態。リース会社に対して支払わなければいけない負債は JHF が受け取っていますので 3 月迄に一括払いの処理をしたい。

下村常任理事： 予算化はもうしていて支払いが済んでいないだけです。全額を未払いで計上しています。

對馬監事： リース会社との交渉は、組織がなくなってどうするかと聞いてみます。

**採決の結果、【賛成 6 反対 0 棄権 0】で可決された。**

**賛成： 荒井、内田、大沢、菊池、下村、松田**

#### **第 4－6 号議案 委員の活動に対する日当について**

菊池副会長： 委員の方には緊縮予算で 3 年前は日当 0 円、翌年に 2,000 円としてやってきました。本当に緊急措置だったので皆さんにボランティアでやって来ていただきました。ここに来て予算が回復しましたので、従来の日当に戻したいという提案です。

下村常任理事： 予算はありますので大丈夫だと思います。

荒井理事： これは予算がありそうな感じですが、あっと言う間になくなります。次の年まで考えないで予算化して OK を出したら大変なことになると思いますので私は反対です。長く出せるならいいですけど、段々縮小しているのを忘れてその年が支払えたから来年も支払えるという考えでは駄目です。再来年は収入が 3 割減ると思っています。私はもう 1 年位我慢してもらった方がいいと思います。

下村常任理事： 確かに理事も毎月活動して自分持ちでしたよね。理事は上げないで委員の方の日当を 2,000 円から 3,000 円にするとか。もう 1 年待つという荒井さんの意見の折衷案でどうでしょう。

菊池副会長： 私達は最初からボランティアの信念で理事になって来たのですが、委員の方は一生懸命働いて仕事している間に 1 日休んでもらったりしているのです。ある程度はみても当然だと思います。5,000 円が無理であれば 4,000 円とか。段階的な手法で上げてあげた方がよいと思います。

議長： では新年度より委員会日当支払いを 4,000 円にすることで承認の方は挙手をお願いします。

**採決の結果、【賛成 6 反対 0 棄権 0】で可決された。**

**賛成： 荒井、内田、大沢、菊池、下村、松田**

#### **第 4 - 7 号議案 2008 年国際航空連盟 (FAI) 賞候補者推薦について**

内田会長： FAI 国際航空連盟が表彰する人について推薦を出して下さいということです。11 月の理事会でこれについて正会員に理事会だけでは目が届かない人がいないか推薦して下さいと案内を出すことを決議して案内は出しました。残念ながら正会員からは推薦の返事がないというのが現状です。本日は推薦者が全国からないので理事会として推薦する人がいないかを決めていただきたいという内容です。

松田常任理事： 航空協会から調整の上 FAI に出して、FAI でも審査があります。

菊池副会長： 今迄各国の表彰された方のリストを見ると本当に世界的に活動をしている人ばかりですね。

松田常任理事： 今回は該当者なしということで航空協会に返事をして、来年以降に向けて私達 JHF がアワードを推薦する時の基準を作っておいた方がいいと思います。基準については私が担当して制度委員会の小林さんと話をしてみます。

**採決の結果、【賛成 6 反対 0 棄権 0】で可決された。**

**賛成： 荒井、内田、大沢、菊池、下村、松田**

## 5. 協議事項

### 5-1 3月定例理事会日程変更（検定員研修と重複の為）

### 5-2 2月臨時理事会の設定について

3月定例理事会の日程が教員検定員の研修検定会と重複の為、12日の定例理事会を現地のアサギリ高原パラグライダースクールの一室にて開催。2月27日（水）臨時理事会開催と決定。

### 5-3 制度委員会への諮問の確認

選挙管理委員会から選挙規約の見直しが出て、11月の文書理事会で制度委員会に諮る決議がされていたが出されていなかったの確認。それと共に、補助動力委員会の管轄するモーターパラグライダー技能証、MPG技能証、MPG教員技能証について諮問を出すことの確認をした。

### 5-4 2008年度予算案の編成方針について

6月総会迄の4～6月の予算運営で、定款38条2の「止むを得ない事情により予算が成立しないときは、会長は理事会の議決を経て予算成立の日まで前年度予算に準じ収入支出することができる」とあり、2008年度予算案を作った時に決めることとした。

### 5-5 3月教員検定員研修検定会の予算計画

10月理事会で決議された教員検定員研修検定会の予算総額50万円の確認と、可能であれば研修検定会のビデオ撮影を検討することとした。

### 5-6 改革三法対応組織

改革三法について特別委員会の組織を会長の指名により次回理事会で承認することとした。

### 5-7 過去のJHF議事録の再確認と未実行決議の洗い直し

次回もしくはその次の理事会に向けて準備を進める。

### 5-8 JPMA保険対応について

保険会社との交渉は下村常任理事、JPMAに対する交渉は内田会長、菊池副会長がやるということとその都度の報告とする。

### 5-9 JHF広報出版部の廃部

松田常任理事より広報出版部を廃部として、広報出版に係ることは事務局の仕事としてコントロールするという提案。2月理事会にて審議とする。

### 5-10 ボランティアの公募・登録

松田常任理事より、委員会活動に参加する時間は取れないが、例えばイベント時や事務局等、連盟の活動のボランティア活動をしていただける方を公募、登録したいと提案があった。審議事項に挙げることで採決。

採決の結果、【賛成 6 反対 0 棄権 0】で可決された。

賛成： 荒井、内田、大沢、菊池、下村、松田

Web にアップして、実行に移すことに関して採決。

採決の結果、【賛成 6 反対 0 棄権 0】で可決された。

賛成： 荒井、内田、大沢、菊池、下村、松田

## 5-11 その他

荒井理事より、スカイスポーツの活性化の為にイベント、テレビ放映等、検討していくことをリストアップしてアイデアを共有していくことを提案された。

## 6. 報告事項

### 6-3 事故情報データベースの運用開始について

安全性委員会の下山委員長より、長年懸案だった事故調査のデータベースが、Web ページから入力、送信をしてデータベースの元資料となること。実際の画面等の報告があった。公表時期等は松田常任理事と広報出版部にて検討することとした。

6-1、6-2、6-4、6-5 については別紙のとおり 6-6～6-8 については担当者から報告した。

6-1 現金・預金・郵便振替等残高明細

6-2 フライヤー会員登録・技能証発行実績

6-4 教員検定員研修検定会の申込状況

6-5 2007 年度予算計画、各項目の消化状況と未執行残高

6-6 JHF 事務局の現状について

6-7 パラグライディング教本改訂作業の進捗状況

6-8 JHF レポート発行の進捗状況

### 6-9 その他

イカロス出版・小貝さんから 3 月の 29、30 日の第 3 回目のリアルパラワールド・木島平ミーティング 2008 の説明をいただき、協賛金 20 万円の依頼があった。過去の経緯もあり満額出すことで採決。

採決の結果、【賛成 6 反対 0 棄権 0】で可決された。

賛成： 荒井、内田、大沢、菊池、下村、松田

この議事録が事実と相違ないことを確認し署名捺印する。

議長

\_\_\_\_\_  
(狩野 智子)

署名人

\_\_\_\_\_  
(荒井 健雄)

署名人

\_\_\_\_\_  
(大沢 豊)

議事録作成人：桜井加代子